

平成28年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	数学
発行者名（番号）・教科書名	東京書籍（2） 新編 新しい数学
1 取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ・数学科の目標を達成する上において、基礎的・基本的な知識や技能を身につけ、生徒の学習意欲の向上を図り、主体的な学習を通して、数学的な思考力や表現力を育むことができるよう配慮されている。
2 内容の選択及び扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の導入では、操作活動を中心とした内容や、生徒にとって身近な具体的事象を取り上げ、試行錯誤する活動を通して、生徒が興味・関心をもって学習を進めていけるよう配慮されている。 ・既習事項を学び直す場面と、新しい内容を学ぶ場面をバランスよく取り扱うとともに、多様な活動を取り入れるなど、学習指導を進める上で適切に工夫されている。また、多様な考えを伝え合い深めていく言語活動を通して、数学的な思考力や表現力が伸びるよう配慮されている。 ・章で学習した内容に関連して、学習内容を深められるよう「数学のまど」コーナーが設定されている。また、章末及び巻末の「活用問題」では生徒の自主的・自発的学習を促す発展的な学習内容で、方法や理由等を説明する記述式の問題を中心に配列されている。
3 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るため、「例」「たしかめ」「問」という流れのもとに構成されている。また、各節末に「基本の問題」、章末に「章の問題A」「章の問題B」を設け、生徒の理解の状況に応じて問題に取り組めるよう配慮されている。
4 内容の構成及び配列	<ul style="list-style-type: none"> ・領域間の系統性に基ついた配列となっている。学習指導を進めるにあたって、関連した既習事項に配慮し、適切な場面が前学年や前単元の内容を学び直すこと（スパイラルな学習）ができるよう工夫されている。 ・学習課題は、易しいものから難しいものへと段階的に配列され、巻末には「補充の問題」が設けられており、問題の分量も生徒に無理のないよう配慮されている。スパイラルな学習が行えるようになっている。
5 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・章のとびらでは、生徒の「なぜ」、「どうして」を大切にし、その疑問を自ら解決できるよう問題場面や発問が工夫されている。 ・数学的活動として、学習したことを日常生活や社会へ活用することを重視し、数学の有用性を実感できる場面を設けるよう工夫されている。「やってみよう」、学びをいかす章末及び巻末の「活用の問題」、「数学のまど」、巻末課題編の「社会とつながる」など、場面や用途に応じて使える豊富な課題が用意されている。
6 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・B5サイズでゆったりと配列されており、字間及び行間・書体は適切である。 ・導入で提示する課題のポイントやフォントを変えたり新しい用語や記号を太字にするなど工夫されている。
7 その他	
総合的な評価	生徒が興味・関心を持って学習できるように考えられており、適している。

平成28年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	数学
発行者名（番号）・教科書名	大日本図書（4） 新版 数学の世界
1 取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ・数学科の目標を達成する上において、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、事象を数理的に考察し、表現する力を育むことができるよう配置されている。
2 内容の選択及び扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の学習活動において、既習事項との関連を重視し、導入課題をていねいに扱っている。また、小問のステップに沿って考えることで、基礎的・基本的な知識・技能が身につくように工夫されている。また、ていねいな説明である。 ・発展的な学習内容として、「もっと数学」のコーナーを設けている。各章で学んだ内容を深めたり広げたりすることで、生徒が数学により興味を持つことができるようになっている。
3 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の理解度や興味・関心に応じて、柔軟に取り扱える課題を用意するなど、個に応じた指導が行えるよう配慮されており、基本的なものから応用的なものまでバランスよく取り入れられている。
4 内容の構成及び配列	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも、目次には領域ごとに小学校や他学校との関連を示すとともに、系統が重視された配列となっている。 ・本文の「プラス・ワン」（補充的な問題）、節末の「練習」、章末の「章の問題」、「挑戦しよう」（活用）、「もっと数学」（発展）、巻末の「まとめの問題」（補充的な問題）など、繰り返し練習する機会を設け、生徒一人一人が教科書を活用して主体的に学習に取り組めるような構成になっている。
5 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを活用して考えるための「挑戦しよう」のページが用意されており、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を活用する力をつけられるよう工夫されている。 ・側注に既習事項を示すなど、生徒が基礎的・基本的な知識や技能を確実に身につけられるように工夫されている。 ・生徒の学習意欲を高めるために、章のとびらは美しい写真と問いかけの文章で導入し、章末では、その章で学んだ学習内容に関連するコラム「社会にリンク」で締めくくる構成になっている。 ・課題解決の過程では、筋道を立てたり、根拠を明らかにしたりしながら、説明し合う活動や互いの考えを紹介し合う活動を積極的に取り入れ、言語活動の充実が図れるよう工夫されている。
6 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・各節は見開き2ページ単位にまとめられ、学習のねらいや学習内容が明確に示されている。 ・文字の大きさを1年と2、3年で変え、色づかいやフォント、改行位置なども誰にでもわかりやすい紙面となるよう工夫されている。
7 その他	
総合的な評価	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能が身につくように工夫されておりやや適している。

平成28年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	数学
発行者名（番号）・教科書名	学校図書（11） 中学数学
1 取扱内容	・数学科の目標を達成する上において、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、さらに進んで学習する態度を養うとともに数学的な見方や考え方ができるように配慮されている。
2 内容の選択及び扱い	・生徒の身近な事象や、環境や福祉をテーマにした問題を取り上げ、生徒一人一人が興味・関心をもち、主体的に学習できるよう配慮されている。 ・章のまとめの問題（活用）や「深めよう」のコーナーでは、学んだことがらを身のまわりの場面などに活用する課題を設定し、活用力や読解力を養えるよう配慮されている。数学的活動の取り扱いも充実している。 ・発展的な内容は、章末の「深めよう」、巻末の「課題学習・自由研究」の中で扱われるよう構成している。
3 内容の程度	・生徒の理解の状況に対応できるよう練習問題は基礎的なものから応用的なものまで幅広く取り入れられている。また、生徒の興味・関心を喚起するため多方面からの例を示すなど配慮されている。
4 内容の構成及び配列	・目次には、領域ごとに小学校や他学年との関連を示すとともに、各領域間の系統性を重視した配列となっている。 ・「例」、「問」、各節末には「確かめよう」を設け、基礎的・基本的な知識及び技能を習得するため、繰り返し学習できるよう構成されている。また、章末の「章のまとめの問題」では、基本、応用、活用の3つのコースがあり、個の理解の状況に応じて選んで取り組めるよう構成されている。
5 創意工夫	・思考力や表現力を育成するために、全ての章に数学的活動に重点を置いて学習できるページが設定されている。また、巻末の折り込みを使って、生徒一人一人が数学的活動を通して、楽しみながら自発的に取り組めるようになっている。 ・基礎的・基本的な知識や技能を活用する場面では、複数の考え方を並記し、根拠を明らかにしながら筋道を立てて説明する力を育むことができるよう配慮されている。
6 使用上の便宜	・ゆとりあるレイアウトにし、1ページの情報量が多すぎることを避けるよう配慮されている。 ・教科書に書き込みできるように工夫されており、できるだけ図をページの外側に配置するなど配慮されている。
7 その他	
総合的な評価	・各領域間の系統性を重視した配列となっておりやや適している。

平成28年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	数学
発行者名（番号）・教科書名	教育出版（17） 中学数学
1 取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ・数学科の目標を達成する上において、基礎的・基本的な知識や技能を身につけ、既習内容を活用しながら、考える楽しさを味わい、自らが主体的に学習できるよう配慮されている。
2 内容の選択及び扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・章のはじめに、問題形式により既習事項を確認し、章末では「学習のまとめ」で既習事項を確認することで、学習内容のふり返りや基礎・基本の確実な定着を図るとともに、数学的な思考力や表現力を育成し、学習する意義や楽しさを感じられるよう配慮されている。 ・地域や学校の実態に応じた身近な課題を取り上げたり、環境や福祉をテーマとした問題に触れたりして、生徒一人一人が数学に対して興味・関心を持ち、主体的・自発的に学習できるよう配慮されている。 ・「チャレンジコーナー」「数学の広場」では、数学的な見方・考え方を育てる課題が豊富に取り入れられ、学習内容をさらに発展させることができるように配慮されている。また、巻末の「自由研究」では、発展的な内容を盛り込み既習事項を活用し、さらに深めていけるよう工夫されている。
3 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・易から難へと生徒の思考に無理のないようにステップを踏んで配列され、基礎的・基本的な知識や技能の習得から、それらの活用までを見通した多岐にわたる内容が設けられている。
4 内容の構成及び配列	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の前に既習内容の確認問題や、スムーズに導入できるような課題を取り入れたり、生徒の発達段階に応じた系統的な配列がされている。 ・各学年とも、「たしかめ」「基本のたしかめ」「練習問題」、また、巻末に、「たしかめの補充問題」「実力アップ問題」を段階的に豊富に設けることで生徒の理解や習熟に応じて、基本的な計算力を養い、確実な定着を図れるよう問題が配列されている。
5 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・数や式の計算を行う場合に、誤りやすい箇所では意図的に誤答を取り上げ、同じような誤りをしないように注意喚起している。 ・キャラクターの吹き出しを用いて、既習内容の確認、解法のきっかけとなるようなヒント、見落としがちな事項の注意などを効果的に配置されている。
6 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめや定理の背景に色を付け、色を効果的に使用している。
7 その他	
総合的な評価	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識及び技能の習得から、それらの活用までを見通した多岐にわたる内容が設けられており、やや適している。

平成28年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	数学
発行者名（番号）・教科書名	啓林館（61）未来へひろがる数学 啓林館（61）未来へひろがる数学 MathNavi ブック
1 取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ・数学科の目標を達成する上において、基礎的・基本的な知識や技能を身につけ、生徒が自分の考えを説明したり、他者の考えを理解したりする力を育むことができるよう配慮されている。
2 内容の選択及び扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の学習においては、生徒の身近な課題を取り扱ったりして、意欲的に学習が進められるよう工夫されている。 ・学習のとびら（各節の導入）では、生徒が興味・関心を高めながら主体的に学習に取り入れるよう、身近な生活に関連したものが選択されているとともに問題解決の必要性が感じられるよう配慮されている。 ・「数学展望台」、「数学広場」には、発展的な学習を進めていけるよう学習した内容に関連のあることがらが紹介されている。 ・問題解決能力・思考力・判断力の育成に関しては、「千思万考」で試行錯誤したり、じっくりと順序立てて考えたりすることを通して、論理的に考える力・工夫する力・連想する力など身につくよう配慮されている。
3 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発達段階を考慮した表現を用いて、基礎的・基本的な知識や技能の習得に重点をおき練習問題や復習問題が設けられている。また、問題の程度も適切であり、単なる知識・技能の詰め込みとならないよう、生徒がそれらを活用する場面を充実させている。
4 内容の構成及び配列	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校算数で学んだ内容や中学校数学内の既習事項については「ふりかえり」において円滑な連携が図れるよう構成されている。また、系統性を考え、既習の内容をもとに新しい学習内容へとスムーズに発展していけるよう構成されている。 ・指導内容をまとまりのある章で構成し、相互の関連や発達段階を考慮し、学習が自然に進められるように配慮されている。
5 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・「例題」では解答の標準的な書き方をノート形式で提示されている。また、巻頭では「ノートのくふう」を設けて、ノートを書く時の注意点や工夫を提示し、学習習慣として身につくよう配慮されている。 ・基礎的・基本的な知識や技能の定着に関しては、じっくり考える段階が細かく設定されている。また、それらの活用に関しては、考え方や理由を説明したりまとめたりする場面を設定している。 ・「自分のことばで伝えよう」、「みんなで話し合ってみよう」、「自分の考えをまとめよう」を設け、言語活動の充実を図り、根拠を持って説明する力を育むように工夫されている。また、巻末には「数学を通して考えよう」を設け、数学における読解力を育むよう配慮されている。
6 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に落ち着いた色使いになっている。また、全ての生徒が読みやすいように、余白を十分取っている。
7 その他	
総合的な評価	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識及び技能の習得に重点を置かれ、適している。

平成28年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	数学
発行者名（番号）・教科書名	数研出版（104） 中学校数学
1 取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ・数学科の目標を達成する上において、基礎的・基本的な知識や技能を幅広く身につけ、自ら進んで学習する態度を育むため、生徒の興味・関心を高めるよう配慮されている。
2 内容の選択及び扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の前半では、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るための練習問題が掲載され、単元の後半や巻末では、それらの活用や発展的な学習を扱うことで、生徒の学習内容への理解がより深まるよう配慮されている。 ・他教科との関連に於いて、他教科で学習した学年と同学年の数学で取り上げるとともに、福祉・環境・文化等の社会的なテーマにも配慮されている。 ・当該学年における学習内容に加え、発展的な内容をバランスよく取り上げている。また、章末問題の発展や巻末のチャレンジ編「深めよう」のコーナーでは、学習の理解を深め、知識を活用できるよう配慮されている。
3 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発達段階に応じて、十分な演習量を確保し、基礎的・基本的な知識や技能が確実に身につけられるようにするとともに、巻末には、発展的な問題も取り上げ、応用力を高めようとしている。
4 内容の構成及び配列	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項からの円滑な接続に十分留意し、学習の基礎が確立できるよう配慮されている。「クイックチャージ」を利用して、前学年や前単元の内容の学び直しが設定されるなど、算数・数学の流れを丁寧に迫っている。さらに、数学の体系的な流れを考えた発展的な学習問題に取り組むことで、その後の数学の学習につながるよう配慮されている。 ・本文や章末だけでなく、巻末の「ぐんぐんのぼそう」にも、学習場面に応じた分量で練習問題が用意されている。 ・説明が丁寧でわかりやすく、特に証明の過程や図が適切であり、生徒が理解しやすいよう配慮されている。
5 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・「問」は平易な問題を中心に構成し、本文の内容が確実に身につけられるよう構成されており、一部の例については反復問題を与え、なだらかに学習ができるよう配慮されている。 ・「章の問題A・B」は、標準的なものを中心に、学習事項の理解を確実にすることができるよう構成されている。「発展」は、生徒の意欲に応じて扱うことで、抵抗なく学ぶことができるよう工夫されている。 ・学習のきっかけとなる「Q」、議論や作業を通して考える「<u>Q</u>」、「考えよう」、「やってみよう」、「章とびら」に加え、「説明文」や「問」でも数学的活動を促すような場面を多く設定し、生徒自らが考え主体的に学習を促すよう工夫されている。 ・導入で、簡単な操作や実験などを取り入れるなど、生徒が興味を高めながら、新しい学習内容に取り組めるよう配慮されている。また、コラムにあたる「数学探検」では、既習事項を活用してものごとを考えたり、身のまわりの事象から数学を見いだしたりできるような話題を取り上げている。
6 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・理解を助けるための色刷りは、生徒が無理なく学習できるように配慮されている。また、ページの右端の広い余白は、生徒が授業内容をメモできるよう配慮されている。
7 その他	
総合的な評価	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発達段階に応じて、基礎的・基本的な知識及び技能が確実に身につけられるよう構成されるとともに、応用力も高めようとしており、最も適している。

平成28年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	数学
発行者名（番号）・教科書名	日本文理出版（116） 中学数学
1 取扱内容	・数学科の目標を達成する上において、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、学習意欲を高め、思考力・判断力等を身につけることができるよう配慮されている。
2 内容の選択及び扱い	・章の導入にあたる「章の扉」の部分では、操作活動をともなう課題や、話し合いのきっかけとなる題材などを提示し、その章で学習する内容について、数学的活動を通して、生徒の興味・関心を高められるよう工夫されている。 ・日常生活や社会の中、さらに今日的な課題で数学を利用する場面を多く取り上げ、数学の有用性を感じられるよう配慮されている。
3 内容の程度	・生徒が理解の状況に応じて練習問題に取り組むよう、基礎的な問題からやや高度な問題まで幅広く取り上げ、基礎的・基本的な知識や技能、数学的な見方や考え方が確実に身につけられるよう工夫されている。また、章末では、それらを活用する場面を充実させている。
4 内容の構成及び配列	・中学校段階で確実に身につけなければならない学習内容の定着を図るとともに、発展的な学習内容については、生徒に過度な負担をかけない構成となっている。また、〈例〉をきめ細かな学習段階に分けて展開し、それを定着させるための十分な量の〈問〉が設けられている。 ・巻末の数学マイトライでは、数学的活動が進められよう配慮され、数学的活動の結果を筋道立てて説明できる構成になっている。
5 創意工夫	・各章の導入にあたる「章の扉」の前ページに「ふりかえり問題」が設定されており、既習事項との接続に配慮し、生徒が無理なく学習できるように考えている。章の扉はすべて見開き2ページとし、学習のきっかけとなる課題や身近な話を写真やイラストを使って表現されている。 ・理解が不十分な問題について振り返ることができるように、「基本の問題」と「くり返し練習」には、どこまで学習した内容かが「フィードバックマーク」で示されている。また、巻末には、1年は「基本の作図」と「立体の見取図・展開図」、2年は記入式の「図形のまとめ」、3年は「図形のまとめ」が設けられ、学習の整理ができるようになっている。
6 使用上の便宜	・巻末の折り込みは、適切な紙質・厚さであり、切り取り線にはミシン目が入っているなど、生徒が扱いやすいよう配慮されている。（1・3年）また、文字の大きさや書体、行間隔なども、中学生の発達段階を考慮して読みやすいよう配慮されている。 ・小口に色別インデックスがつけられ、使いやすくなっている。
7 その他	
総合的な評価	・基礎的・基本的な知識及び技能が確実に身につけられるよう工夫されており、やや適している。